

# Press Release

令和7年2月21日

消 防 本 部

消防協力者に感謝状を贈呈します

1月27日に唐津市民交流プラザ(大手ロセンタービル「<sup>オーテ</sup>Otte」3階)で発生した救急事案で、急病で倒れた男性に対して、的確な観察と胸骨圧迫、AEDを使用した心肺蘇生法を実施し、傷病者の救命に寄与した功績に対して消防長から感謝状を贈呈します。

1 日 時

2月28日(金) 15時から

2 場 所

消防本部 3階会議室(ニタ子3丁目)

3 出席者

(1) 小松 裕子(こまつ ひろこ)様

(2) 境 麻巳(さかい まみ)様

(本件の問い合わせ先)

消防本部消防総務課

担当:進藤

電話:直通72-4147

令和7年1月27日(月)唐津市民交流プラザでの救急事案概要  
被表彰者及び消防活動内容など

1 被表彰者

- (1) 住 所 唐津市高砂町  
氏 名 小松 裕子(こまつ ひろこ)さん  
職 業 唐津市民交流プラザ職員  
備 考 119番通報、観察
- (2) 住 所 唐津市新興町  
氏 名 境 麻巳(さかい まみ)さん  
職 業 韓国語講師  
備 考 AED操作、胸骨圧迫

2 消防活動内容など

- (1) 発生年月日  
令和7年1月27日(月) 午前9時31分頃
- (2) 場所  
唐津市南城内 大手ロセンタービル3階  
唐津市民交流プラザフリースペース
- (3) 状況  
唐津市民交流プラザフリースペース(大手ロセンタービル「Otte(オーテ)」3階)で新聞を読んでいた高齢の男性が突然仰向けに倒れた。その場に居合わせた小松さん、境さん、その他3人(市職員、唐津市民交流プラザ職員、元看護師の男性)が男性の倒れた音に気付き、直ちに駆け寄り、反応・意識・脈拍を確認した結果、男性は意識なし、呼吸なしで心肺停止状態であった。小松さんは119番通報し、境さんと元看護師の男性、唐津市民交流プラザ職員で市職員が持ってきたAEDを操作し、電気ショックを実施、その後救急隊が到着するまで胸骨圧迫を続けた。救急隊に引継ぎ後、続けて胸骨圧迫を続けると総頸動脈等の触知を確認し、自己心拍再開となった。この一連の適切な応急処置があったため、傷病者の救命に寄与したものの。